

紫式部から学ぶ!!
おちんぼへの接し方講座!!

「どうも皆さん、紫式部と申します
本日は私が『取材』させてもらっている
おちんぼ様への接し方をお見せ致します」

「どうぞよろしくお願いします
ではまず身だしなみの紹介から…」

「ひゃん!!」

「もうっ!!
今説明しているんですから
いい子にしてくださいっ」

「え…?
もう待ち切れないのですか?
仕方ありませんね…♡」

「それでは早速…
まず初めにおちんぼ様に
自らの顔を擦りつけマーキングしてもらいます
これにより誰の所有物であるのかを伝え、
更に従順である事を示します」

「段々と熱を帯びてきましたね…♡
私の顔で興奮してくださっているのでしょうか…?」

「十分にマーキングしてもらいましたら
次はこちらにご挨拶をします
ちよつと失礼しますね…」

「わあ…すっごく重たい…♡
本日もたっぷり精子を
作ってくださいましたのですね…♡」

「少々匂いの方失礼しますね…
…はあ♡とつても濃い臭いがします…♡
なんて強いオスの匂いなんでしょう…♡」

すん♡
すん♡
すん♡

「匂いを嗅ぐ度、
私のおまんこが疼いてしまつて
どんどん愛液が溢れてしまいます…♡」

「ああ…もうやめなくてはいけないのに
すんすん…♡すんすん…♡
す…♡」

すん♡
すん♡
すん♡

「？」

すん♡
すん♡

「二通り射精が終わったのを確認したら尿道に残ってしまっている精液を吸い出してあげます♡」



「射精されたばかりで
お辛いでしょうが、
少々我慢してくださいませ♡」

「全て吸い出しましたら
射精を終えたおちんぼ様に心からの労いと
射精してくださった感謝を込め
接吻をします」



お疲れ様でした…♡



「いかがでしたでしょうか？今回の……
…ひやつ!!」



「最後におちんぽ様と記念撮影をしたら
おしまいとなります」



「あの、まだ終わっていないくて…
え？今から朝まで『取材』…ですか…？
興奮したから失神するまでハメ倒してやる…だなんて…♡
あ、えつとそーういう事ですので
突然ですが終わりになります
それでは皆様あっ♡ご♡ご機嫌よう…♡あっ♡」